

2010年1月25日(月)

10:40-12:10

「企業と社会」最終講義

小林 俊治

I、日本の経営学

江戸時代—商業実践の仕方、近江商人の「3方よし」豪商の家訓など

明治時代—経済学の一部、商事経営学、経営経済学。明治37年9月、早稲田大学商学部  
創立(1904年、日露戦争開戦の年(2月))

天野為之は、初代商科長、第2代学長(1915-1917年、大正4-6年)

大正時代—ドイツ、アメリカからの輸入学問。「技術論としての私経済学」、経営経済学。7  
1912年(大正15年)日本経営学会創立。テイラーシステムの導入。

昭和前期—配給論(マーケティング)。中西寅雄のマルクス経済学的経営学(個別資本の運  
動)

昭和戦時期—「非常時の経営学」昭和16年(1941年)12月7日真珠湾攻撃

合理化の経営学 昭和6-10年

統制の経営学 昭和11-16年

動員の経営学 昭和17年-20年(1945年)

昭和後期—アメリカ経営学

平成時代—経営戦略論、IT、ものづくり、インサイダー取引、企業倫理、

II、私の「企業と社会」論の研究の軌跡

経路依存性

経営学ブームの時代に商学部に入学(1958年)、「経営経済学会」サークルに入会

60年代 安保反対運動。大学院でバーナードを研究。商学部専任講師。

70年代 大学改革—学生の反乱、早稲田大学の長期ストライキ

80年代 日本の経営の高評価。経営文化論

90年代 バブルの破裂

2000年代—今日まで 企業倫理の時代、資本主義経済の長所と短所